2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 21 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	宮田 大輔
研究課題	離散アルゴリズムの応用的研究				
研究キーワード	アルゴリズム, 数え上げ	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>日本の伝統的ボードゲームである将棋に関して、互いに効きのない駒の配置の数え上げに関する研究を行った。2024 年度は特に桂馬を配置する問題について研究を行った。すべての解の個数を数え上げるプログラムを作成し、$N < 20$ 程度についてすべての解および基本解の個数を求めた。また盤面に竜王をいくつか置いた状態から、適切な配置を作ることができるかどうか判定する N-竜王補完問題については進展がなかった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>【論文 (査読あり)】</p> <p>なし</p> <p>【著書・論文 (査読なし)】</p> <p>なし</p> <p>【学会発表等】</p> <p>「n-竜王問題の対称解の個数について」, 第 17 回国際 ICT 利用技術学会研究会, 2025 年 3 月</p> <p>3. 主な経費</p> <p>主として研究に必要な書籍の購入に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>特になし</p> <p style="text-align: right;">(本文は2ページ以内にまとめること)</p>					